

大垣市 農業委員会だより

第29号

令和8年9月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)

☎ 0584-81-4111(内線2532)

☎ 0584-47-8614(直通)

Fax 0584-81-4899

「楽しい農業・

儲かる農業の実現」

を目指して

大垣市農業委員会

会長 岩井 豊太郎



本市の農業は、県内でも有数の耕地を有し、担い手も多く、水田農業のポテンシャルも高い地域であるといわれています。

しかし、ほ場整備率の現状は、四十三%で、県平均の六十四・一%を下回っており、米の基準単収では、一反当り四百六十七kgで、県平均の四百八十kgを大きく下回っています。

この様に、ほ場整備率が県平均を下回り、水稲単収も県平均を下回るなどの現状を踏まえ、本市としても将来にわたって安定的な食糧供給の確保を図るため農政の基盤の強化が、喫緊の課題であると考えます。

一方、県農政を取り巻く現状を述べてみますと、国全体の食力自給率が四十%程度で推移する中、本県は、二十五%程度と低い状態で推移して

います。

農業従事者の減少が急速に進む中、令和七年三月までに県内市町村が策定した十年後の地域農業の姿を描く「地域計画」において、計画区域内の農用地等のうち、十年後の担い手が位置付けられていない面積の割合は四十三%に上り、特に中山間地域は五十五%と、担い手不足が顕著となっています。

また、基幹的農業従事者の平均年齢が七十・一歳と全国平均より二・五歳高く、高齢化が一層進む中、若者の農業参入が極めて重要となっており、大規模経営体への雇用就農等、多様な経営体で就農を促進する必要があります。

このような現状を踏まえ、本県は、四つの基本方針、①新たな担い手の確

保、②潜在力をフル活用した生産強化、③新たな流通ルートの開拓、販路拡大、④安心できる農畜水産業と農村の環境整備、を取り組み、目指す将来像として「楽しい農業・儲かる農業の実現」に向けてを基本理念とした「ぎふ農業活性化基本計画」が策定されました。令和八年度から当面五年間、この計画の方向性は、県が重点的に取り組む施策を示すもので、県農政の最上位に位置付けられるものであります。

一方、本県の総人口は、令和七年十月現在約百八十九万一千人で、令和二年以降五年間で、約八万七千人、四・四一%の減少です。このような人口減少により当然、農業従事者の急速な減少は避けられません。従来の農地を「守り切れない」レベルであることは明らかであり、農業の在り方を転換させるタイミングを迎えていると思います。

こうした本県の農業が直面する課題への確に対応するため、新たな基本計画が策定されました。

本市の農政の課題解決に向けて、基本計画の基本理念「楽しい農業・儲かる農業の実現」に向けて、皆さんと共に取組んでいきたいと思いま

地域の農業委員・農地利用最適化推進委員のみなさんをご紹介します。

○農業委員：19名 ○農地利用最適化推進委員：20名

任期 令和8年7月20日～令和11年7月19日

中 川



岩井 豊太郎 (会長)



稲川 芳樹

和 合



森 千尋



高橋 美和子



清水 茂己

中 部



五島 貞次

三 城



三摩 隆英

安 井



國嶋 義雄



児玉 巧 (新任)

○農地利用最適化推進委員

- ・転用案件等について、推進委員として意見を述べる
ことがあります。
- ・地域計画では、目標地図の素案作成に関して協議の
場に参加します。
- ・農地等の利用の最適化に取り組みます。
「農地利用の集積・集約化」・「遊休農地の発生防止・
解消」・「新規参入の促進」



洲 本



林 新太郎

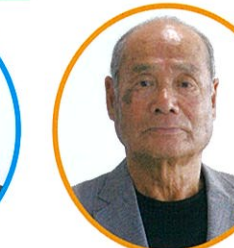


渡部 幸一

川 並



高橋 滋 (副会長)



川合 義晴

浅 草



高槻 正彦



高木 敏幸

大垣地域

農業委員・農地利用最適化推進委員

青 墓



吉田 幹夫



上田 彰

赤 坂



田部 恵



増田 正幸(新任)

荒 崎



清水 峰幸



廣瀬 悦治

宇留生



棚橋 新一



岡本 敏美



山中 秀夫(新任)

○ 農業委員

- ・委員会に出席し転用案件等を審議して、最終的に合議体として決定します。
- ・地域計画では、目標地図の素案作成に関して協議の場に参加します。
- ・農地等の利用の最適化に取り組みます。
「農地利用の集積・集約化」・「遊休農地の発生防止・解消」・「新規参入の促進」



静 里



吉田 和郎(副会長)



市川 浩示

綾 里



柳瀬 美穂



傍島 勝美

南杭瀬



大橋 耕司

多芸島



佐竹 静



名和 善昭



農業委員・農地利用最適化推進委員

上石津地域

牧田・一之瀬



桐山 文子



高木 正美

多良



三輪 則夫



谷川 利美

時



江口 美智子 (新任)



辻元 政博

墨俣地域

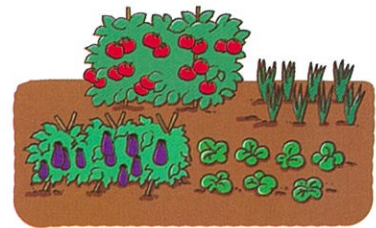
墨俣



河合 裕満



下野 千秋 (新任)



農業者年金に加入しましょう

安心して豊かな老後生活！

60歳未満で
あること

国民年金
第1号被保険者で
あること

年間60日以上
農業に従事
していること



上記を満たせばだれでも加入できます。

(例) 農地を持っていない農業者、配偶者、後継者、農業と自営業の兼業者
詳しくは (農業者年金基金のHPに案内)

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

